

腎臓内科学術業績

平成 28 年学術業績

I. 原著

1. Yamamoto T, Togawa A, Eguchi M, Ohashi N, Yasuda H, Harita Y, Hattori M, Yamaguchi Y, Ohyama K. Glomerulopathy with distinctive fibrillar deposits but lacking glomerular deposition of type III collagen. *CEN Case Rep.* 2016, 5:163-167.
2. Yamamoto T, Maruyama Y, Ohashi N, Yasuda H, Shinozaki M. Hypophosphatemia predicts a failure to recover from adefovir-related renal injury after dose reduction in lamivudine-resistant hepatitis B patients. *Hepatol Res.* Feb 3, 2017. Early View on line.

II. 著書

III. 学会発表

- 1 向山佳宏、森洋一、速水慎介、阿久澤聡、鈴木一周、石神直之、川勝祐太郎、山本龍夫:大動脈解離後の急性腎不全で透析導入し 37 日間の無尿期間を含む 115 日後の下行大動脈血行再建後に透析離脱した一例、第 61 回日本透析医学会学術集会・総会、2016 年 6 月 10-12 日、大阪
- 2 山本龍夫、丸山保彦、篠崎正美:アデホビル連日長期投与での腎障害の発症率と隔日投与に減量後の改善率、改善に影響する因子の検討、第 59 回日本腎臓学会学術総会、2016 年 6 月 17-19 日、横浜
- 3 前田流美、寺井智宏、丸山保彦、景岡正信、大畠昭彦、志村輝幸、山本晃大、山本龍夫:全身化学療法のアダマキによりネフローゼ症候群から離脱した切除不能進行胃癌の 1 例、第 229 回日本内科学会東海地方会、6 月 26 日、浜松
- 4 川勝祐太郎、白川元昭、西山元啓、速水慎介、田嶋健一、向山佳宏、森洋一、樋勝政博、山本龍夫:シャント造設術後早期の 2 度の閉塞を契機に発見したヘパリン起因性血小板減少症の 1 例、第 48 回静岡腎不全研究会、2016 年 10 月 2 日、静岡
- 5 稲垣圭佑、山本龍夫、川勝祐太郎、丸山保彦、田口淳:IgG4 関連疾患に血小板減少、好中球減少症をきたした 1 例、第 46 回日本腎臓学会東部学術大会、2016 年 10 月 7-9 日、東京
- 6 小柳津昌哉、柳澤綾美、小畑理恵、藤本沙紀、神田里美、三山容子、田中幸、山本龍夫:人工透析室での NST 活動、第 49 回静岡県腎不全研究会、2017 年 3 月 5 日、静岡

- 7 可児邦広、志田龍太郎、三浦雅臣、大島一憲、荻野修平、内田真一、池谷直樹、佐々木貴充、板谷三紀子、靱田葵、篠崎真吾、大浦正晴、関常司、菱田明、山本龍夫：腎機能障害・胸水貯留を主症状としMPO-ANCAが強陽性であり、腎生検にて小動脈の壊死性変化を認めるも糸球体変化に乏しかった一例、第54回静岡腎セミナー、2017年3月18日、浜松

IV. 講演

1. 山本龍夫：“守れ腎臓！ ふじえだCKD ネット” かかりつけ医の先生にお願いしたいCKD；chronic kidney disease(慢性腎臓病)診療、平成27年度 藤枝版、志太医師会講演会 Community Medicine Symposium for CKD、2016年3月17日、藤枝
2. 山本龍夫：眠くならない腎臓病講座：CKD(慢性腎臓病)患者を診る時の要点、注意点、2016年5月19日、藤枝
3. 山本龍夫：薬薬フォーラム：CKD(慢性腎臓病)診療における投薬管理、2016年5月26日、藤枝
4. 山本龍夫：藤枝学術カンファレンス・ピットフォール：Ca、P異常を見逃していませんか。2016年6月6日、藤枝
5. 山本龍夫：CKD(慢性腎臓病)診療における投薬管理、薬薬フォーラム、2016年7月28日、藤枝
6. 山本龍夫：健康長寿と減塩 腎臓と心臓の守り方、藤枝保健講座、2016年8月5日、藤枝
7. 山本龍夫：Ca、P異常を見逃していませんか。志太医師会第一回腎疾患症例検討会、2016年9月2日、藤枝
8. 山本龍夫：「守れ腎臓！ 藤枝CKD ネット」 2016年3月1日始動、CKDの重症化予防研修会、2016年10月5日、藤枝